

# 南部町教育行政施策の点検・評価

前へ…、前へ…、ひたすら前へ…、

南部町の教育 一步前へ…！

[添付資料]

- (1) 令和4年度南部町教育行政施策の概要
- (2) 令和4年度南部町の教育
- (3) 令和4年度南部町教育行政施策に係る事業報告書（決算審査資料）

南部町教育委員会

[2023/7/28]

南部町教育行政点検評価委員会 委員名簿

氏 名	住 所	摘 要
原 田 雅 文	米子市錦町 2 丁目 258-4	学識経験者
川 口 有美子	鳥取市若葉台北 1-1-1	学識経験者
伊 藤 静 也	南部町天萬 611	学校教育
石 原 司 子	南部町円山 118	社会教育
毎 川 秀 巳	南部町馬佐良 423	社会教育
清 川 葉 月	南部町天萬 561	社会教育

【任 期】 令和 4 年 5 月 1 日から令和 6 年 4 月 30 日まで

## 令和4年度南部町教育行政施策の点検・評価

### I. 教育委員会の現況

#### (1) 教育委員（令和5年3月31日現在）

職名	氏名	性別	年齢	住所	就任年月日	年数
教育長	福田 範史	男	62歳	南部町東上 1010	H. 31. 04. 02	4年目
職務代行者	瀬田 啓道	男	48歳	南部町御内谷 1205	H. 28. 12. 08	7年目
委員	板 真悟	男	46歳	米子市西福原 4-8-2	H. 27. 12. 09	8年目
委員	畠 美枝子	女	67歳	南部町清水川 167	H. 29. 12. 22	6年目
委員	吉田 智子	女	62歳	南部町東町	R. 04. 12. 08	1年目

- (2) 会議 定例会議： 12回（議案数 36件・専決処分数 22件）  
 臨時会議： 1回（議案数 1件・専決処分数 0件）  
 教育委員協議会： 2回

- (3) 会議における委員提案及び報告 2件

- (4) 活動 学校訪問・学校行事等参加 7回  
 町内行事・研修会等参加 5回  
 西部地区及び県研修会参加 2回

令和4年度は、依然として新型コロナウイルス感染症が、拡大と縮小を繰り返している状況の中でありながらも、南部町においては「After コロナ」を見据え、様々な学習や教育活動、各種事業を、最大限の感染防止による安全を担保した上で展開していくこととしました。感染状況等によっては、直近で中止や延期の判断をすることについても想定した上で、「With コロナ」に向けての新たな取り組みを展開して行く年度と位置付けました。

そうした中で、平成30年度に策定した「南部町教育振興基本計画（第Ⅱ期）」及び「教育に関する大綱」のもと、第Ⅱ期の充実段階であるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一部においては教育行政の停滞があったことは否めない事実であります。一方で、そうした状況をプラスにとらえ、新しい時代に適応した教育を考えるタイミングであるとの認識に基づいて進められたり、再開されたりした、「With コロナ」につながる取り組みが見られたことは昨年度からの大きな前進と言えます。

教育関係者に対しては、管理職会や園長校長会、各種会議等、さまざまな機会をとらえて、「今やるべきこと、今だからできること」に知恵を出し合って取り組むよう、幅広く周知を図って参りました。可能な限りの新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、それぞれの直近の課題解決やSDGsに代表される新たな時代へと踏み出していく教育の営みは、今後の教育行政全般における新たなスタンダードとなるものでもあります。

活動や学習の実施に当たっては、目的や児童生徒、参加者、対象者の気持ちや状況を鑑み

た上での実施となるよう方向性を示したものの、現実には、新型コロナウイルス感染症対策を第一に考え、昨年同様に中止や延期を余儀なくされたこともありました。

学校教育では、新型コロナウイルス感染症対策として体験や協働しての学びに一定の制限をかけた結果、運動会や体育祭の分割開催や、修学旅行の行先の県内変更などがありました。しかし、規模や範囲、方法等に工夫を凝らして行われた日々の教育活動の結果、学習者の達成感や充実感、満足感などは、これまでと比較しても高いものであったとの報告を多く受けています。

社会教育では、生涯学習の拠点施設「キナルなんぶ」が想像以上に好調な滑り出しを見せ、5月1日に迎えた一周年においては、累計来館者数が19万人を超えました。知の拠点を具現化した図書館ゾーン、人が集う共有ゾーン、特別天然記念物オオサンショウウオの生態飼育展示をはじめとする「なんぶふれあい館」など、町内外から注目を集め、令和5年度に向けては、参加者50万人のイベントに取り組むこととしました。

冒頭に示したように、南部町教育委員会は「南部町教育振興基本計画（第Ⅱ期）」及び「教育に関する大綱」の実現に向け、国や県の方向性を注視しつつ、教育の「不易」と「流行」を鑑み、取り組んで参りました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、数々の制限を受ける中、以下、重点施策として取り組んだことについて述べることで、詳細については、教育方針の項目に従って記述した表をご覧ください。

なお、令和5年度には、新型コロナウイルス感染症の5類移行を控えていることから、「With コロナ」の年として、南部町教育行政が充実できることを願い、令和4年度の教育行政の点検評価の総括といたします。

#### 【総務・学校教育課】

国・県同様に、本町においても不登校の児童生徒数が増加傾向にあることは、大変大きな課題である。未然防止や早期対応を進めるため、校区ごとのスクールソーシャルワーカーと学校の関わりを充実させ、福祉部局との連携も図りながら進めているものの、コロナ禍による影響もあるためか、その効果は限定的である。

学力向上に向けては、学校と事務局が協働して全国学力学習状況調査および標準学力調査の結果を分析・共有し、その結果をもとに学力向上の取り組みを進めてきた。また、指導主事が各校の授業研究にも加わるなど校内研究体制の見直しと改善が進み、協同学習の理念に学びつつ授業改善が図られてきた。

I C T活用においては、一人1台端末の整備が完了し、いよいよ個別最適な学びを支える学びのツールとして積極的にその使用が図られる段階となった。この段階での重点課題は教師の指導力であり、I C T支援員が積極的に学校を訪問し、情報提供や授業への入り込みを行うなどの支援を行ってきた。その結果として、教職員の負担感や苦手意識についての改善が見られた。

教職員の働き方改革については、町立学校の業務の見直しや声掛け等は確実に実施さ

れ、以前の町立学校や今の県全体の平均残業時間と比べると長時間労働は改善されており、一定以上の成果を出している」と評価している。

中学校の部活動の地域移行について様々な情報が報道される中、ようやく国のガイドラインが示されたことから、部活動の法的根拠、教師の専門性、部員数の減少、指導者の確保等、そのあり方を考える時期に来ている。

#### 【人権・社会教育課】

複合施設「キナルなんぶ」は、図書館機能、公民館機能を有する生涯学習の拠点施設かつ、町内外の交流による賑わいも創出するところとしてスタートし、2年間で373,503人の利用者を数えたことから、その効果は絶大であると評価している。

高校生サークル、新☆青年団の活動は多岐にわたり、様々な場面や場所でその姿を見ることができ、町での事業では欠くことのできない存在になりつつあるが、依然としてその中心に社会教育主事の存在があることから、あらためてメンバーの主体性の育成や自立という点に具体的な支援やスケジュールが必要であると認識している。

ミカエル・セミナーや小地域での研修に中止もあったが、DVD視聴や人数制限など、方法や形態の工夫をして可能な範囲で人権教育を実施したところ、参加者の満足度は高く、あらためて参集で行われる学びの重要性が認識された。

文化財保護については、住民主体の「ガチャコンプロジェクト」による法勝寺電車の100歳イベントは残念ながら中止となったが、住民主体の公民館活動として継続して進めていきたい。また、より多くの方に届く保護啓発活動となるよう、特別天然記念物「オオサンショウウオ」のシンボルとしての活用を図っていく。